

ニュースポーツをより身近なものに

伊予市教育委員会事務局社会教育課

1 本年度の取組

新型コロナウイルス感染症の影響により、双海地域でのスポーツ行事は中止せざるを得なくなった。新型コロナウイルス感染症の拡大が本格化した令和2年度以降、双海地域のスポーツ行事は全て中止を余儀なくされており、スポーツ行事の消滅も危惧される事態であった。

地域コミュニティ単位でのスポーツ行事開催が困難なことから、個人単位で参加できるスポーツ行事を模索した結果、「誰でも」、「気軽に」楽しむことができるニュースポーツの体験を通して、スポーツの日常化を目指すこととした。競技にはポッチャ、ディスコン、バウンドテニスの3種目を採用した。事前に双海地域のスポーツ推進委員や自治公民館体育部長に研修を行い、当日の指導や審判を依頼した。

10月3日（日）、17人の参加者がニュースポーツを体験した。ポッチャはパラリンピック正式種目であること、ルールがシンプルであることから好評であった。ディスコンは、裏表が入り替わることや相手のディスクを弾き飛ばすスリリングな展開が低年齢層を惹きつけた。バウンドテニス、体力のある青年層を中心に人気を集めた。

また、コロナ対策として、受付での検温、使用したボール等の消毒を欠かさず実施した。

2 成果

当日は、幼児から大人まで幅広い年代の参加者がニュースポーツを体験した。これにより、競技スポーツは苦手でも「自分の力に合ったスポーツを楽しむことができる」ことへの理解が深まったのではないかと思う。さらには、当体験会を通じてニュースポーツの認知度が上昇し、市内のこども園、小学校での体験事例を確認している。

3 課題

当体験会の開催は、地域の新しいスポーツ行事の形の一つを示すことができたという点では意義のあるところだが、中止となった従来のスポーツ行事の代替行事としては参加者が少数に留まり、集客力に課題を残すこととなった。

今後は体験会形式を維持し、ニュースポーツに触れる場として規模の拡大を目指すのか、体験した競技を大会種目とした競技大会形式のスポーツ行事に発展させ、地域に根付くスポーツとして定着を目指すのか、検討していくことが必要と考える。



【体験会の様子】



【ポッチャ】



【ディスコン】



【バウンドテニス】



【審判するスタッフ】